エーリエルの日記

タイラは頑固すぎて認めないが、クリムゾンダークはもうおしまいだ。奴らに名前も顔もバレてる。市警隊に捕まらなければ東帝都社か、他のギルドか、これまでに怒らせた大家にやられる。あくまで私は、奴らが先手を打つのに手を貸しただけだと思ってる。

私の仕事はアジトに火を放って、帝国軍の兵士に炎に包まれた山賊どもを始末させることだった。奴らが制服をまとった卑劣なブリキ缶だってのがよく分かる。決して公平に戦い、取引することはない。とはいえ、私も同じだ。

衛兵隊長は自分の屁の臭いを嗅ぐのに夢中で、焼かれているのが死んでずいぶん経つ死体だと気づかなかった。クリムゾンダークはもう姿を消していた。

対等な取引だった。向こうの先手を逆手に取ったんだ。こちらが約束を守ったから、奴らには見破れなかった。

もっとも、奴らもいずれは気づくだろう。脱出劇に私が果たした役割に気づかなかったにしろ、仲間の逮捕には協力させる気だ。奴らは私が伝えたことをきれいにファイルにまとめ、隊長連中に配布した。私のことも書いてあるんだろうか。

青白き目にだけは、私たちの自由の代償のことを伝えた。他の連中には分かるまい。奴らは罪悪感に耐えきれない。だが私も誰かに言わずにはいられなかった。なぜなら、どうやら私も耐えきれなかったようだから。

エーリエルの日記

FormId	ccbgssse053-ba_leather.esl:00081B
Owning plugin	ccbgssse053-ba_leather.esl
Local FormId	00081B
Editor ID	ccBGSSSE053_EhlhielNote
Inventory image	(none)
Menu art	HighPolyJournal
Value (gold)	0
Type	Book or tome
Weight	0
Can be taken	Yes
Teaches	(none)
Inventory description	(none)
Keywords	VendorItemBook
Locations	0
Leveled lists	0
Scripts	0

© Bethesda Softworks LLC and the authors of the mods in the load order.
Exported and generated with SkyrimSourceExporter.